



広  
報

# 北広島

2016.8



特集

北広島マンモス

行財政改革

命を救う 早期発見・早期治療

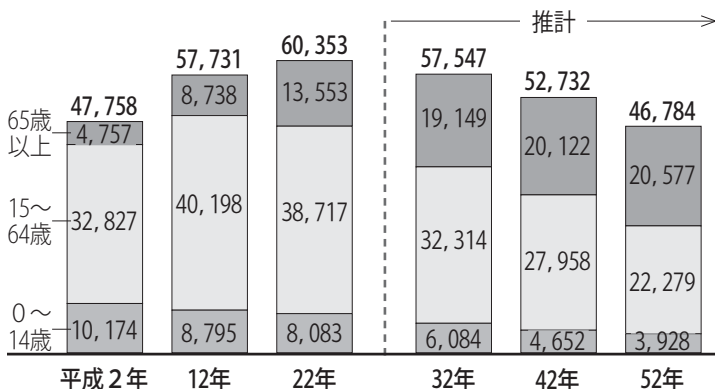
市の人口は、平成22年から32年までの10年間で約2,800人の減少が見込まれています。年齢別で見ると、生産活動の中核となる15～64歳が約6,400人減少し、65歳以上は5,600人増加する見込みです。

このように人口減少と少子高齢化が進んでいくと、税収の減少と社会保障にかかる費用の増加が予想されます。

市が、将来にわたって必要なサービスを安定的に提供し続けるためには、これまで以上に無駄を省くとともに、収入を増やすための工夫をしなければなりません。

また、より効果的で効率的な行政運営のため、市役所の体制づくりや市民・民間事業者との連携強化も必要です。

■人口の推移（人） 平成22年までは国勢調査、32年以降は国立社会保障・人口問題研究所の推計（平成25年3月）



## 改革の主な取り組みを紹介します

### 基本目標

# III

〈これまでの改革〉

■新たな市民参加手法の実施  
市政への参加機会が無かった市民に参加の場をつくるため、無作為抽出により委員を選んだ市民会議を開催しました

■寄附金控除の拡大

個人が一定の条件を満たす市内のNPO法人に寄附した場合に、個人市民税寄附金控除の対象とする制度を創設しました

## 市民協働・官民連携の推進

〈今後の取り組み〉

■市民参加・市民協働の情報提供

市民参加や市民協働の情報について、ホームページなどを活用し市民に分かりやすく提供します

■指定管理者制度の導入

市が直営で管理をしている中央公民館や広葉交流センターに、民間事業者などによる指定管理者制度の導入を検討します

### 学校給食費の公会計化を進めています

学校給食センターでは、行財政改革の取り組みの一環として「学校給食費の公会計化」を進めています。学校給食は、調理に必要な施設・設備の整備費や光熱費、人件費は市が負担し、食材費は児童・生徒の保護者の皆さんに負担していただいています。

これまでの給食費は、保護者が給食費を納入し、学校ごとに管理する「私会計方式」により運営されていますが、平成29年4月から

は、市の予算として管理する「公会計方式」に移行する予定です。

公会計化により、給食費の透明性が向上し、給食費の取り扱いによる事故の防止、口座振替の金融機関が選択できるようになるなど市民サービスの向上につながるものと考えています。

これからも、子どもたちに安全でおいしい給食を提供するため、学校給食の運営にご理解とご協力をお願いします。



学校給食センター長 富田英禎

特集

# 行財政改革

administrative and financial reform



現在、市役所全体が一丸となって行財政改革を推し進めています

問合せ 政策推進室企画課 (☎372-3311・内線685)

## 行財政改革大綱・実行計画 (平成27年度～32年度)

市の現状と課題を踏まえ、3つの基本目標と15の改革項目、具体的な方策として48の実施項目を定めています。計画期間は、第5次総合計画が終了する平成32年度に合わせ、6年間としています。

基本目標

# I

〈これまでの改革〉

■特別会計繰出金の適正化  
国民健康保険事業特別会計への繰出金について、一般会計で負担すべきものを明らかにし、適正に支出するため、基準を作成しました

■公共施設などに関する長期計画の作成  
多くの施設が老朽化を迎える中、市民が安心して利用できるよう、市全体を見据えた計画を作成しました

## 持続可能な 財政運営の推進

〈今後の取り組み〉

■債権一元管理体制の構築  
それぞれの部署で所管する市税や保育料などの債権を、1つの部署にまとめ、一元管理する体制の構築を検討します

■学校給食費の公会計化  
会計処理の透明性や保護者の利便性の向上、負担の公平性などのため、現在の私会計から公会計に移行します

基本目標

# II

〈これまでの改革〉

■公正な評価の実現  
職員の人材育成や人事管理に活用するため、能力評価と業績評価の2つの視点での人事評価制度を導入しました

■人材育成基本方針の見直し  
地方分権の進展や大量退職による職員構成の変化、人事評価制度の導入などを踏まえ、基本方針を見直しました

## 機能的な 行政運営の推進

〈今後の取り組み〉

■市民満足度・優先度・実感度調査の実施  
総合計画や政策評価への活用を目的として、市民満足度などの意識調査を定期的に実施します

■政策評価の活用  
実施する政策の選択や事業の改善に活用するため、市民にもわかりやすく、効果的で効率の良い評価方法への改善を検討します

# 集団検診

市内集団検診と送迎バス検診の2種類があります。  
市内集団検診は、各地区に北海道対がん協会の検診車が来て、実施します。

送迎バス検診は、市内の指定集合場所から札幌市にある対がん協会にバスで行き、受診をします。

複数の検診が一度に受診できる機会ですので、ぜひ利用してください。9月には市内集団検診を実施します。詳しくは、下の表をご覧ください。



## ◆9月に実施する市内集団検診

日程	受付時間	会場	定員	検(健)診の種類
9月3日(土)	午前7時～7時45分	大曲会館	105人	胃がん、大腸がん、肺がん  がん検診(胃・大腸・肺)だけを受診する方は、できるだけ、こちらの日程で受診してください。  胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がん、エキノкокクス症、肝炎ウイルス、30歳代健診、国保30歳代健診、後期高齢者健診、循環器健診
	8時～8時45分			
	9時～9時45分			
4日(日)	午前7時～7時45分	東記念館	105人	
	8時～8時45分			
	9時～9時45分			
5日(月)	午前7時～7時45分	団地住民センター	105人	
	8時～8時45分			
	9時～9時45分			
6日(火)	午前7時～8時	西の里会館	45人	
	9時30分～10時15分	農民研修センター	35人	
25日(日)	午前7時～7時45分	東記念館	105人 (健診は75人)	
	8時～8時45分			
	9時～9時45分			
26日(月)	午前7時～7時45分	団地住民センター	105人 (健診は75人)	
	8時～8時45分			
	9時～9時45分			

### 申込期間

8月2日～9日

70歳未満の方は、申し込みに印鑑が必要です

**申込み** 直接、担当課と各出張所、団地住民センター連絡所、エルフィンパーク

\*土・日曜の受け付けはエルフィンパークだけです。

\*郵便、電話での申し込みは受け付けません。

12月と平成29年2月には、送迎バス検診を実施します



北海道対がん協会  
企画課広報係長  
植村絵美さん

北海道対がん協会では、各種のがん検診が受診できます。年に一回、家族みんなががん検診を受けましょう。

### 大切なあなたと一緒にがん検診

2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなる日本。現代医学をもつても、がんを予防することはできません。

できることは、がんをできるだけ早期に発見して、早期に治療し、完治を目指すことです。がんと一口に言っても、できる部位によってその性質はさまざまです。

しかし、どのがんにも共通して言えるのは、早期のうちには全く症状がないことです。症状がない、つまり早期がんを見つける方法は、検診しかありません。

## 無料クーポン券

対象の年齢の方には、がん検診などの無料クーポン券を5月末に送付しています。

自宅にクーポン券が届いている方は、ぜひ利用してください。

また、無料クーポン券には使用期限があります。期限が近くなる1月・2月は、医療機関の予約が大変込み合いますので、早めに受診してください。

### 対象

- 子宮頸がん検診=20・25・30・35・40歳の女性
- 乳がん検診=40・45・50・55・60歳の女性
- \*子宮頸がん・乳がん検診は、過去5年間に市の補助で受診したことがない方が対象です。
- 肝炎ウイルス検診=40・45・50・55・60・65・70歳の方
- \*肝炎ウイルス検診は、過去に市の補助で受診したことがない方が対象です。

# 命を救う 早期発見・早期治療

問合せ 健康推進課 (☎372-3311・内線807)

## 早期発見・早期治療が大切！

「がん」は、日本人の死亡原因の第1位で、市民の死亡原因のうち全体の3分の1を占めています。がんは初期には自覚症状がほとんどないため、症状が出たときには、進行していることも多くあります。そのため、定期的に検診を受診し、早期に発見・治療することが大切です。

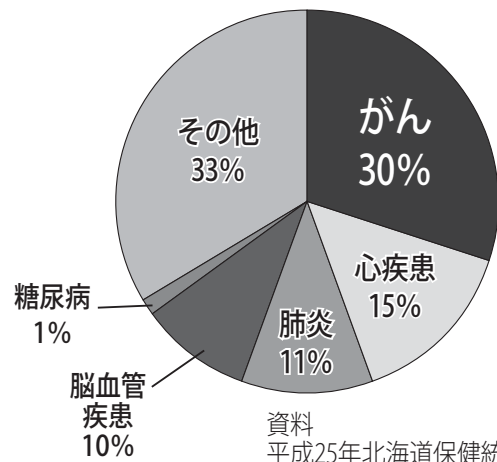
## 自分の健康状態を確認

がんに加え、心疾患、脳血管疾患、糖尿病などの「生活習慣病」を合わせると、死亡原因の半分以上を占めます。これらの病気も自覚症状がないまま進行します。定期的に健康診査を受けることで、自分の健康状態を把握し、生活習慣の改善ができます。

職場などで受診する機会がない方は、市の検診を受けましょう。

北広島市民の死亡原因（平成25年度）

### 死因の第1位は「がん」



## 市で実施している検診

市のがん検診を受診する場合は、事前に申し込みが必要です。担当課と各出張所、団地住民センター連絡所、エルフィンパークで受け付けます。

受診券を発送するまでに10日程度かかりますので、受診を希望する方は早めに申し込んでください。  
\*右表のほか、骨粗しょう症検診（腕のX線検査）、エキノコックス症検診、30歳代健診などがありますので、詳しくは担当課に問い合わせてください。

申し込みには、印鑑が必要です！



検診の種類	対象（年齢は受診日現在）	受診できる医療機関	受診料（自己負担額）	
			住民税課税世帯	非課税世帯か70歳以上
乳がん（マンモグラフィー）	40歳以上で平成27年度未受診の女性（2年に1回）	対がん協会、結核予防会、北広島病院	1,600円	500円
子宮がん（けい部）	20歳以上で平成27年度未受診の女性（2年に1回）	対がん協会、結核予防会、みよしレディースクリニック	1,500円	500円
大腸がん（便の検査）	40歳以上	対がん協会、結核予防会、市内の医療機関	700円	200円
胃がん（胃バリウム）	35歳以上		1,500円	500円
肺がん（胸部レントゲン）	40歳以上	対がん協会、結核予防会	40～64歳＝400円 65歳以上＝無料	40～64歳＝100円 65歳以上＝無料
前立腺がん（血液検査）	40歳以上で平成27年度未受診の男性（2年に1回）		600円	200円

# 誰もが安らげる場をつくりたい



カレーライスを受け取る子ども。  
「おいしそうだね」



食堂の準備を進める寺岡さん



## ふれて子ども食堂

市内で初めての子ども食堂が7月から白樺町の地域交流ホームふれてで始まった。親の多忙などから十分な食事が取れなかったり、一人きりで食事をしたりする子どもを減らそうと、安価で食事を提供する試みだ。近年、全国的に広がりを見せている。

ふれて子ども食堂の場合は、子どもだけではなく、1人暮らしの高齢者などにも気軽に参加してもらい、交流につなげることが目的だ。ふれてで活動している市民スタッフなどがボランティアで働いている。中心になっているのは、地域のお茶の間運営委員長の寺岡和彦さんだ。

6月のプレオープンでは約40人が手作りのカレーライスを味わった。通常は月1回の予定だが、夏・冬休みの時期は回数を増やす。今月は3日と10日に開き、新しいメ

## ふれて子ども食堂の運営に携わる

### 寺岡 和彦さん

てらおか・かずひこ  
南町在住。  
北広島団地活性化検討委員会の公募委員として、団地地区の交流促進に尽力。  
平成22年から「第二住区地域のお茶の間」運営委員長を務める。26年には、同運営委員会の功績が認められ「北海道福祉のまちづくり賞」を受賞した。

ニューも加える予定だ。

## 団地地区の活性化を探る

寺岡さんが札幌から北広島団地に移り住んだのは昭和57年。地区に次々と家が建ち人口が増え、にぎわっていた頃だ。しかし、年月とともに高齢化が進み団地内の人口が減少していった。そんな地域の様子を見て、「人口減少を食い止めることは難しいが、速度を緩和させることはできないだろうか」と考え活動を始めた。平成21年に北広島団地活性化検討委員会の委員に就任。同委員会が企画した「手作り野菜の収穫祭」の事務局も担当している。

第二住区の「地域のお茶の間」事業立ち上げにも携わった。コンサートや講演会、落語会など多彩なイベントを開催し、毎回50〜70人の参加がある。「知らない人同士がイベントに来て触れ合う。そうすれば、このまちに住み続けたい

と感じてくれるでしょう。そう信じている。

## 活動を生きがいに

始まったばかりの子ども食堂。これからの課題は周知をすることだ。「この取り組みを本当に必要としている人に情報が届くよう、継続しなければ」と力を込める。

安心して食べてもらうことと経費削減のため、夏と秋に使用する野菜を自分たちで育てている。畑の所有者が無料で土地を貸してくれた。寄付をしてくれる賛同者もいて、支援の輪が広がっている。

「子どもたちや高齢者に安らげる居場所を提供したいと始めた食堂が、私自身とスタッフの生きがいになりました。活動を続けるため、お互い健康に気を付けようと話しているんですよ」。

まちを元気にするのは、人々とのつながり。強い信念の下、寺岡さんの活動は続くだろう。



🐾🐾🐾 北広島マンモス (実物大) ができるまで 🐾🐾🐾



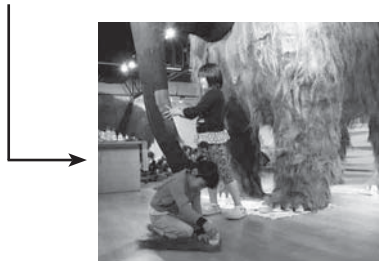
体が完成したので、みんなでパチリ(6/25)



体の後ろ側ができた(5/21)



おおまかな制作方法を聞く(4/23)



鼻にも樹皮を貼り付け(6/25)



完成!

9月25日まで、北海道博物館(札幌市厚別区)で会えるゾウ!



# 北広島マンモス 復活プロジェクト



子どものマンモス

大昔、私たちが住む北広島をマンモスが歩いていたら。そんな想像をするだけでワクワクしませんか。最近の研究で、北広島で発見されていた化石がマンモスゾウとナウマンゾウだと分かり、共存していた可能性があるそう。

マンモスがいたことをたくさんの方に知ってもらおうと、全長約5mの北広島マンモスの実物大全身模型を小学生・大学生が協力して作りました。子どものマンモスも、市内の小・中学生がリレー形式で制作。模型は発泡プラスチック製で、体毛はシユロの樹皮などを使用しました。

770人以上が参加して作られた親子2体のマンモスは、北海道博物館で開催中の特別展「ジオパークへ行こう!」の展示物の一つとして9月25日まで飾られています。子どものマンモスは、親のマンモスに守られるように後ろ側にいます。

市民の皆さんが作ったマンモスを見に行きませんか。

## まめ記者

### 東部中学校の取り組み



東部中学校3年  
小鷹悠希さん  
(生徒会長)

東部中学校では、あいさつ運動という取り組みを行っています。

あいさつ運動は年に3回程度、朝に代議員がいつもより少し早く登校し、玄関に立って生徒たちとあいさつを交わすものです。あいさつ運動によって、爽やかな気持ちで1日を過ごすことができると思います。

また、あいさつ運動を各学級ごとに行うこともあります。自分が積極的にあいさつをする立場になることで、生徒一人一人の意識も高まります。その意識により、普段の日常生活でのあいさつの習慣も身に付いてきました。

これからもさまざまな活動を通して、全校生徒が一丸となり、より素晴らしい学校にしていきたいと思えます。



あいさつ運動の様子

第38回

# 北広島ふるさと

# 祭

JR北広島駅東口周辺、  
芸術文化ホール前広場、  
エルフィンパーク

8月6日(土) 正午～午後9時

- 12:00 ●チアダンスサークルsmileup! ●キッズダンスサークルANGELS ●ハッピージャンプ ●くーねる・遊Bu
- 13:15 ●リボンちゃんキャラバン
- 14:00 ●札幌日大高校吹奏楽部
- 14:40 ●北広島高校チアダンス部
- 15:30 ●自衛隊第7音楽隊
- 16:15 ●北広島ふるさと太鼓
- 16:45 ●オープニングセレモニー
- 17:15 広島音頭
- 17:25 餅まき
- 17:35 ●リボンちゃんキャラバン
- 18:00 ●フラサークル ケアロヒイカラー
- 18:30 こども盆踊り
- 19:15 仮装盆踊り
- 20:00 ●仮装盆踊り表彰式

8月7日(日) 午前9時～午後8時

- 9:30 YOSAKOIソーランわくわくエルフィンフェスティバル
- 12:00 ●カウアイ・フラサークル北広島 ●北広島相撲甚句会
- 14:30 ●北ひろ二蔵社中 ●R'sダンスサークル ●TEAM ONWARD ●SOPRATICO DANCE SCHOOL 北広島クラッセ校 ●Remix Art&Dance ●D.A.B.オールスターズ ●And we!! ●Takuya ●aile planning - エルプランニング -
- 18:00 ●熱田ゆか(シンガー・ソングライター)
- 18:30 ●石田桃子(江差追分・北広島西高校)
- 19:00 ●大石まどか(演歌歌手)

(●印は、ステージイベント)  
\*花火大会は実施しません。

子どもたちに大人気のバンジートランポリンなどのエア遊具やたくさんの露店、北海道米の歴史を学んで米粉ラーメンを試食できるコーナーもあります。

問合せ 観光振興課 (内線859)

### ◆記念式典の開催

日時 9月3日(土) 午前10時から  
 会場 芸術文化ホール  
 \*詳しくは、本紙8月15日号でお知らせします。  
 問合せ 総務課(内線718)



### ◆知新の駅 企画展

#### 祝いと記念の品

～郷土資料が語る「特別な日」の記憶～



「特別な日」のために使われた民具や、作られた資料を展示します。

期間 8月13日(土)～11月20日(日) 午前9時～午後5時  
 内容 ●市制施行当時の資料 ●記念の歌 ●記念碑  
 ●オリンピック関連の展示ほか  
 \*学芸員による展示解説は、毎月第2土曜日の午前10時30分～11時30分です。  
 会場・問合せ エコミュージアムセンター知新の駅 (☎373-0188)

### ◆NHKのど自慢



#### 申込期限迫る!

出場者・観覧者の申し込みは8月8日までです

◆日程 〈本選〉10月2日(日) 〈予選会〉10月1日(土)  
 ◆会場 総合体育館  
 \*詳しくは、本紙7月1日号が市ホームページ「まちの見どころ→イベント」をご覧ください。  
 問合せ NHKプラネット「のど自慢」係(平日の午前10時～午後6時 ☎207-2499)

### ◆日本相撲協会 少年少女相撲教室

小学3年～6年を対象とした相撲教室です。迫力ある力士の姿を近くで見ることができます。観覧は自由です。

日時 8月20日(土) 午前9時～正午  
 会場 中央公民館  
 内容 ●相撲に関する基礎知識 ●親方や現役力士の実技指導  
 講師 日本相撲協会式部屋 <sup>しきむろ</sup> 式秀親方(元北桜)、西園寺力士、爆羅騎力士 <sup>きたざくら</sup> <sup>さいおん</sup>



式秀親方



西園寺力士



爆羅騎力士

問合せ 市教委社会教育課(内線890)

## SOMPOボールゲームフェスタ in北広島

9月10日(日) 総合体育館

#### ■ボールであそぼう!

ボールを使って運動を楽しみましょう。バレーボール元全日本代表の大山加奈さんがやって来ます。

対象 4歳～小学2年の子と保護者  
 時間 午前9時～正午(受け付けは午前8時15分から)  
 内容 親子でさまざまなボールを使った「あそび」を体験  
 定員 50組



#### ■キッズチャレンジ

日本トップリーグ連携機構の各リーグに所属する選手や指導者による体験会です。

対象 小学3～6年  
 時間 午後1時～5時(受け付けは午後0時30分から)  
 内容 バレーボール、ラグビー、ホッケー、ハンドボール  
 定員 100人



#### ■共通事項

持ち物 室内用運動靴  
 \*動きやすい服装で来てください。  
 申込み 8月22日までに、直接かファクス、電子メールで市教委社会教育課(〒061-1192 住所不要・FAX372-4525・電子メールsyakai@city.kitahiroshima.hokkaido.jp・内線890)  
 \*申込書は申込先と総合体育館にありません。教育委員会ホームページ「手続き・申請・相談→申請書ダウンロード」からも印刷できます。  
 \*申し込み多数の場合は抽選です。

\*市制施行20周年記念事業は、公益財団法人北海道市町村振興協会(サマージャンボ宝くじの収益金)の助成を受けて実施しています。

## 事前に北広島市役所で手続きが必要です

9月2日(申請の受け付けは9月1日)から、札幌市里塚斎場の火葬場を使用する場合も、市葬斎場の火葬料金と同額で使用できます。市役所窓口で利用料金を支払い、利用券を里塚斎場に持参してください。

\*控室を利用した場合の料金は、自己負担になります。

**利用料金** ●15歳以上のご遺体 8,000円

●15歳未満のご遺体 6,000円 ●死胎・

埋葬体 4,000円



**対象** 次のいずれかに該当する方を火葬する場合

●亡くなられた時点で市民であった方

●市民である方の亡くなられた胎児

\*身体の一部や胞衣、産わい物を焼却する場合は対象外です。

**受付窓口** 環境課が各出張所

**受付時間** 平日の午前8時45分～午後5時15分

\*受付時間以外と土・日曜、祝日は市役所当直で受け付けます。

**必要書類など** ●火葬許可書 ●印鑑(ゴム印不可)

## スポーツ賞・文化賞

問合せ先は、各記事の最後に記載

次の基準に該当する個人・団体を表彰します。9月2日までに所定の推薦書に必要書類を添えて、担当課へ提出してください。

表彰式は、11月3日(文化の日)に行います。

\*すでに受賞した方は同じ賞を受賞できません。ただし、団体の場合は、構成員の3分の2以上が変わっていれば対象です。

### スポーツ賞・スポーツ奨励賞・スポーツ功労賞・ジュニアスポーツ賞・ジュニアスポーツ奨励賞

#### ◆対象

市内にお住まいの個人か市内に所在する団体(功労賞は個人だけ)



#### ◆基準

##### 〈スポーツ賞〉

●全国大会で6位以内の個人か8位以内の団体 ●全道大会で優勝した個人か団体 ●北海道記録を樹立した個人か団体 ●日本代表選手に選ばれ、国際大会に出場した個人か団体

##### 〈スポーツ奨励賞〉

●全道大会で3位以内の個人か4位以内の団体 ●北海道代表選手に選ばれ、国際大会に出場した個人か団体

##### 〈スポーツ功労賞〉

●同一競技で選手(団体を含む)の指導に専念し、優秀選手の育成に特に寄与し、指導歴が10年以上で顕著な功績がある ●50歳以上で、同一競技の市のスポーツ発展に貢献し、体育団体の役員歴・個人や団体の指導歴が合わせて15年以上で顕著な功績がある

\*年齢は平成28年9月1日、指導歴は27年9月1日現在です。

##### 〈ジュニアスポーツ賞・ジュニアスポーツ奨励賞〉

●小・中学生で、スポーツ賞・スポーツ奨励賞の基準を満たしている個人か団体

##### 〈各賞共通(功労賞を除く)〉

●平成26年9月1日～28年8月31日の大会出場者 ●全国規模の大会で、出場者数が個人の場合は12人以上、団体の場合は16団体以上 ●全道規模の大会で、出場者数が個人の場合は6人以上、団体の場合は8団体以上

問合せ 市教委社会教育課(内線673)

### 文化賞・文化奨励賞・文化貢献賞・青少年文化賞・青少年文化奨励賞

#### ◆対象

##### 〈文化賞・文化奨励賞・文化貢献賞〉

●市内にお住まいか、主な活動場所が市内にある18歳以上の個人か、18歳以上で組織する団体

##### 〈青少年文化賞・青少年文化奨励賞〉

●市内にお住まいで、小・中学校や高等学校などに在学中か、相当する年齢の方 ●市内にお住まいか通学し、小・中学校や高等学校などに在学中か、相当する年齢の方で組織する団体

#### ◆基準

##### 〈文化賞〉

●全国規模のコンクールなどで、最高賞が最高賞に次ぐ賞を受賞した ●全道規模のコンクールなどで最高賞を受賞した ●活動年数が30年以上で、全道的な規模で文化の振興に顕著な功績がある

##### 〈文化奨励賞〉

●全国規模のコンクールなどで優秀な成績を収め、特に今後の文化活動が期待される ●全道規模のコンクールなどで連続して入選しているか、優秀な成績を収め、特に今後の文化活動が期待される

##### 〈文化貢献賞〉

●活動年数が15年以上で、地区以上の規模で文化の振興に貢献した

##### 〈青少年文化賞〉

●全国規模のコンクールなどで最高賞を受賞した

##### 〈青少年文化奨励賞〉

●全国規模のコンクールなどで最高賞に次ぐ賞か、全道規模のコンクールなどで最高賞を受賞した

##### 〈各賞共通〉

●成績の基準は、平成26年9月1日～28年8月31日のコンクール受賞者 ●年齢や活動歴などは9月1日現在



問合せ 市教委文化課(芸術文化ホール内・☎372-7667)

一緒にきたひろしまの未来をつくろう！

採用予定日 平成29年4月1日

試験区分（試験の種類）・採用予定人数

●事務初級＝若干名 ●保育士＝1人 ●消防初級＝若干名 ●事務（身体に障がいのある方）＝若干名

◆受験資格

〈年齢・学歴などの条件〉

事務初級	●平成2年4月2日～11年4月1日に生まれた ●学校教育法による短期大学、高等専門学校、高等学校が同等の学校などを卒業（平成29年3月までに卒業見込みを含む）
保育士	●平成2年4月2日～9年4月1日に生まれた ●保育士資格がある（平成29年3月までに取得見込みを含む）
消防初級	●平成5年4月2日～11年4月1日に生まれた ●学校教育法による短期大学、高等専門学校、高等学校が同等の学校などを卒業（平成29年3月までに卒業見込みを含む）
事務（身体に障がいのある方）	●昭和55年4月2日～平成11年4月1日に生まれた ●身体障害者手帳（1～6級）の交付を受けている ●学校教育法による大学、短期大学、高等専門学校、高等学校が同等の学校などを卒業（平成29年3月までに卒業見込みを含む） ●活字印刷文による出題と自筆による解答、口頭による面接試験に対応できる

〈各試験区分に共通の条件〉

- 地方公務員法第16条（欠格条項）に該当しないこと
- 国籍は問いませんが、在留資格で就職が制限されていないこと（採用予定日までに就職に制限のない在留資格を取得見込みの方は除く）。ただし、日本国籍がない方は、採用後従事できる職務などに一部制限があります

- 採用後、市内に居住可能なこと
- 障がいがある方は、介護者なしに業務遂行や通勤ができること

〈消防の条件〉

- 心身共に健康なこと ●視力は矯正視力を含み両眼で0.7以上、一眼でそれぞれ0.3以上であること ●赤・青・黄色の色彩の識別ができること ●聴力は左右共に正常なこと ●言語や応答が明瞭で、充分発声ができること ●日本国籍があること

◆試験日程・会場など

		日程	会場	内容
1次試験	筆記	9月18日(日)	石狩教育研修センター(共栄315)を予定	●事務・消防職＝教養試験、適性検査、作文試験 ●保育士＝専門試験、適性検査、作文試験
	面接	10月15日(土)を予定	日時・会場など詳しくは、対象者にお知らせします	個別面接、体力試験（消防だけ）
2次試験		11月5日(土)を予定		個別面接、身体検査

申し込みは、8月19日までに

- 直接 職員採用委員会（職員課内）
- 郵送 「特定記録」で職員採用委員会（〒061-1192住所不要・職員課内）  
\*8月16日以降に投函する場合は、「特定記録・速達」で送ってください（8月19日消印有効）。

◆申込書の配布場所

市役所案内と各出張所、団地住民センター連絡所、エルフィンパーク、芸術文化ホール、夢プラザ  
\*市ホームページ「市役所ご案内→職員・委員等募集→正職員」からも印刷できます。

採用予定日 平成28年12月下旬

試験区分（試験の種類）・採用予定人数

●保育士（育児休業代替任期付職員）＝1人

◆受験資格

- 保育士資格があり、保育施設で勤務経験がある
- 地方公務員法第16条（欠格条項）に該当しない
- 国籍は問いませんが、在留資格で就職が制限されていない（採用予定日までに就職に制限のない在留資格を取得見込みの方は除く）。ただし、日本国籍がない方は、採用後従事できる職務などに一部制限があります
- 障がいがある場合、介護者なしに業務遂行や通勤ができる

業務内容 市内の保育園に勤務し、保育業務に従事

採用期間 12月下旬～平成30年3月下旬（予定）

勤務時間 1週間38時間45分で交替制勤務

休日 週休2日（シフトにより変動）、祝日、年末年始  
給与 給料（職歴加算あり）、扶養・通勤・住居手当など

◆試験日程・会場など

8月27日(土) 北広島市役所

内容 作文試験と個別面接

申し込みは、8月15日までに

- 直接 職員採用委員会（職員課内）
- 郵送 「特定記録」で職員採用委員会（〒061-1192住所不要・職員課内）  
\*8月9日以降に投函する場合は、「特定記録・速達」で送ってください（8月15日消印有効）。

◆申込書の配布場所

市役所案内と各出張所、団地住民センター連絡所、エルフィンパーク、芸術文化ホール、夢プラザ  
\*市ホームページ「市役所ご案内→職員・委員等募集→正職員」からも印刷できます。